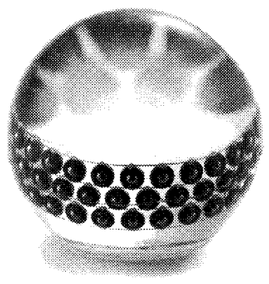
小さな球の、大きな革命

直径1-2ミリの球状太陽電池スフェラーなら
ソーラーがもっとあなたのそばに



スフェラー
Sphelar®
Spherical Micro Solar Cell

スフェラー　検索

http://www.kyosemi.co.jp

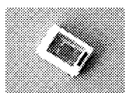
KYOSEMI
光の技術を未来のために

京セミ株式会社
〒612-8201 京都市伏見区恵美酒町949-2
本社 075-605-7311 / 東京 03-5312-5360

光通信用デバイス

InGaAs 10Gbps
フォトダイオードチップ

センサデバイス



表面実装型 紫外線LED

球状太陽電池

小型太陽電池モジュール
スフェラー®アレイF12

星和電機のLED照明器具は、自社のLED素子を使用した一貫生産のもと、
暮らしの中に「安心」と「安全」、そして「彩り」を提供しつづけています。

太陽光の利用で電気代ゼロ円、さらに、CO_2の排出もゼロ!!
ソーラーLED照明灯

私たち星和電機は、低炭素社会の実現に向けて
全社の総力を挙げて取り組んでまいります。
4 ECOLOGY for the Earth Environment
・電気代を低減
・CO_2を低減
・廃棄物排出量を低減
・維持・補修コストを低減

星和電機株式会社
http://www.seiwa.co.jp
お問い合わせは… info@seiwa.co.jp
本社工場 〒610-0192 京都府城陽市寺田新池36番地　TEL.0774-55-8181　FAX.0774-58-2034

省エネ・環境対応、未来への技術発信

新領域の製造装置開拓
HV、EV向けでも 顧客ニーズつかむ

大日本スクリーン製造
橋本 正博 社長

TOP INTERVIEW

―2010年からグリーンデバイス向けの装置を投入しています。

「09年に半導体機器カンパニーで、従来のユーザー以外の新領域に目を向けた装置開拓を目指す『フロンティアプロジェクト』を立ち上げた。パワー半導体や発光ダイオード（LED）、シリコン貫通電極（TSV）、微小電気機械システム（MEMS）を新領域として展開している。ハイブリッド車（HV）や電気自動車（EV）に使われる半導体でもニーズをきっかけ、今後は大型パネル向け投資に期待する。リチウムイオン電池も要素技術を活用した装置開発の可能性を探っている」

―グリーンデバイス関連で研究開発の方針は。

「当面は洗浄装置『CW―1500』とウエハー外観検査装置『ZI―2000』の販売を展開しながら、より深く市場に入り込んでいく。グリーンデバイスはその性質上、多品種小ロットの製品が多く、より市場ニーズにマッチした装置開発を進めていくつもりだ」

―太陽電池向け装置の事業戦略は。

「太陽電池は膜厚測定装置の発売から約2年半がたち、ボリュームは小さいが順調に出荷台数が伸びている。エッチング装置や洗浄装置などの引き合いもあり、事業の幅が広がっている。有機ELは米デュポンと一貫生産ラインの開発を進めている。新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託開発も手がけ、今後は大型パネル向け投資に期待する。リチウムイオン電池も要素技術を活用した装置開発の可能性を探っている」

―グリーンデバイス関連で研究開発の方針は。

「当面は洗浄装置『CW―1500』とウエハー外観検査装置『ZI―2000』の販売を展開しながら、より深く市場に入り込んでいく。グリーンデバイスはその性質上、多品種小ロットの製品が多く、より市場ニーズにマッチした装置開発を進めていくつもりだ」

中国で供給事業本格化
パワコン 欧州展開も視野に

日新電機
天野 嘉一 社長

TOP INTERVIEW

―電力機器事業の市場動向は。

「主力の受変電設備は一般民需に勢いを欠き厳しい状況。顧客は新規投資を抑え設備の延命化を求める傾向にある。当社では既存設備を点検し部分改造・改善により稼働寿命を延ばすライフサイクルエンジニアリング事業を展開している。新たな機能要求にも部品開発で応え、近年では30億円規模だった更新設備の売上高が倍増している」

―パワーコンディショナーを核に環境事業に拍車がかかります。

「パワコンは太陽光発電で得た直流電流を交流に変換する装置。単体および発電システム一括での供給を手掛けている。10年度の国内市場は買電制度が不明確な状況から沈滞化し15―16億円の売り上げに留まりそうだ。今年度は低炭素化を目指す中国市場で生産体制構築を視野に入れ供給事業を本格化させる。将来的には欧州への展開を目指す」

―今年度は新中期経営計画をスタートします。

「15年度を最終年度とする新中計『ビジョン2015』を策定した。狙いは電力機器事業およびライフサイクルエンジニアリング事業、新エネルギー環境事業、ビーム真空応用事業の4つを核とした事業拡大。顧客の生産海外移転が進む中、グローバル化を戦略テーマに掲げた。電力関連の生産拠点や開発部門は国内に置き、新エネ・新事業など成長部門は海外で体制を拡充する。現状、輸出を含めた海外売上高比率は全体の30％程度。15年度には50対50まで引き上げる計画だ」

分野絞り需要を獲得
グローバルニッチで シェアアップ目指す

サムコ
辻 理 社長

TOP INTERVIEW

―グリーンデバイス向け製造装置を主力に事業展開しています。

「炭化ケイ素（SiC）や窒化ガリウム（GaN）など材料特性が良い非シリコンのワイドギャップ半導体の時代がくると信じて研究開発してきた。ドライエッチング（MO―CVD）装置の顧客増加も期待できる」

―LEDは液晶テレビのバックライトや照明用途で市場の拡大が顕著ですね。

「中国ではすごい勢いでLEDの量産工場が立ち上がっている。中国政府が内陸部で企業誘致に積極的で、工場が台湾から中国に移っている。国内メーカーも省エネ対応で生産増強に動き始めた。装置分野を絞って需要を取り込み、グローバルニッチでシェアを高める。また照明用途では、次世代を見据え、有機エレクトロルミネッセンス（EL）の封止膜を形成する装置に力を入れる」

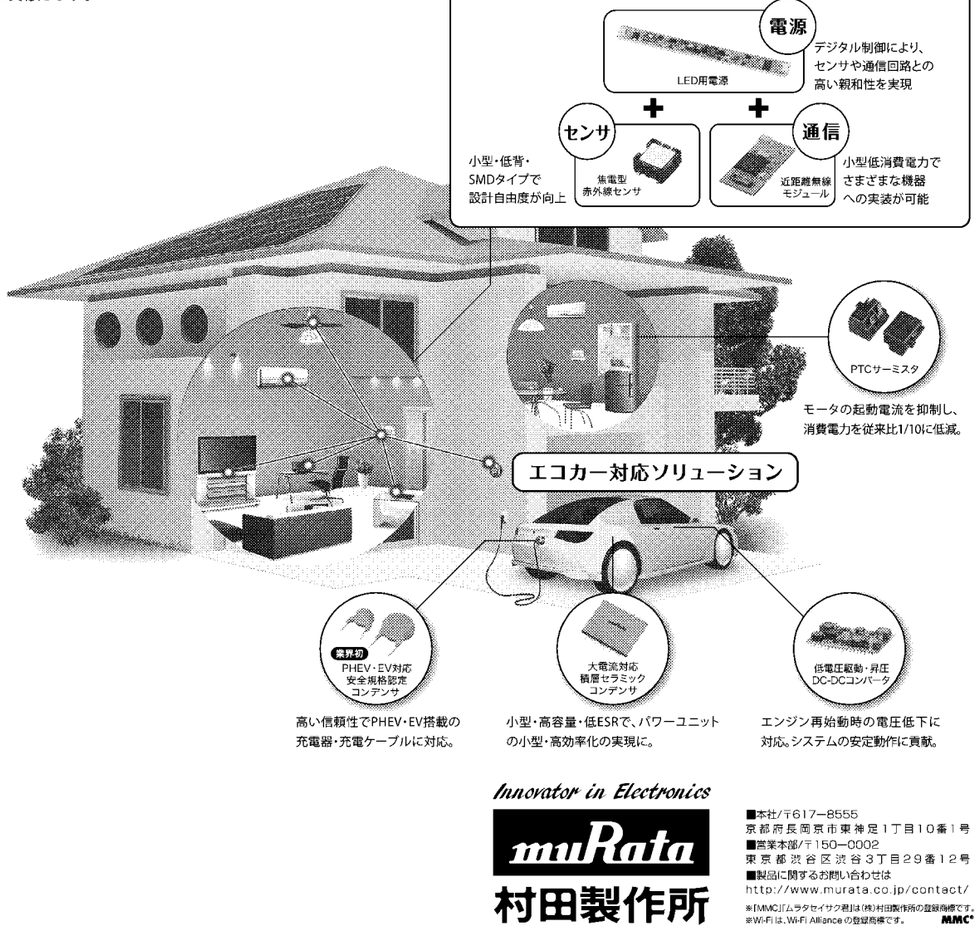
―スマートグリッド（次世代電力網）に注目が集まっています。

「東日本大震災でエネルギー源の一極集中の問題が露呈し、分散型電源の必要性が改めて浮き彫りになった。太陽電池やパワー半導体、LEDなど当社が装置を供給する発電素子や省エネデバイスなどのグリーンデバイスが震災復興の切り札になる。社会貢献になり、やりがいのある仕事だ」

Green × Electronics
スマートホーム、スマートライフに貢献するムラタの電子部品

2010年秋、ムラタセイサク君®はType ECOとしてリニューアル。
大切なエネルギーを上手に使いながら、暮らしを快適で便利にするための様々な技術を搭載しています。
よりエコに、よりスマートに。
ムラタは、高効率で低消費な電子部品で機器のエコを支えるとともに、
センシング・通信技術で、スマートホーム、スマートライフに貢献します。

スマートホーム対応ソリューション
LED照明をはじめ、様々な家電をネットワークでつないで、ITの駆使により消費電力を制御するスマートホーム。ムラタは、デジタル電源とセンサや通信モジュールの組み合わせで、スマートホームへのトータルソリューションを提案します。



Innovator in Electronics
muRata
村田製作所

■本社/〒617―8555
京都府長岡京市東神足1丁目10番1号
■営業本部/〒150―0002
東京都渋谷区渋谷3丁目29番12号
■製品に関するお問い合わせは
http://www.murata.co.jp/contact/
※「MMC」「ムラタセイサク君」は(株)村田製作所の登録商標です。
※Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
MMC®